

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/4/20

No. 36

賛同署名総数は	4/19まで	195,097
*オンライン署名		6,157
*署名用紙署名		188,940

筆
筆
筆

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

みやぎ生協・コープふくしまは

東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。



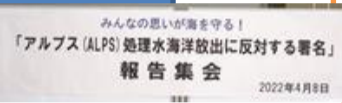
オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。
HPまたは事務局へお問い合わせ願います。



スマホはこちらから

◆みんなの思いが海を守る！<4/8報告集会 開催されました>

4月8日「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」報告集会が行われました。呼びかけ人団体を代表し、みやぎ生活協同組合 副理事長 野中俊吉ふくしま県本部長、宮城県漁業協同組合 寺沢春彦組合長からこの間の取り組みについて報告し、署名に取り組んでくださっている全国の方々からご報告と応援のメッセージをいただきました。



<開会あいさつ>◇みやぎ生活協同組合 大越健治 専務理事

昨年4月の政府によるアルプス(ALPS)処理水海洋放出決定の発表はあまりに唐突で、事前合意を無視したものでした。組織確認が整った4団体で6月8日から署名活動をスタートし、学習活動をすすめてきました。生協、個人、団体協力を得て、現在まで34回学習会を実施し、1590名の方々に参加されました。全国のみなさまへの感謝の気持ちをお伝えすると共に、更なる取り組み提案の提起のため報告集会を開催いたします。



<呼びかけ人報告>◇みやぎ生協 副理事長 野中俊吉 ふくしま県本部長

呼びかけ4団体と岩手県生協連は3月30日、みなさまから寄せられた179,093筆の署名を携え、東京電力と経済産業省に要請に行ってきました。手書き署名が17万3,000筆、オンライン署名が6,000筆となっており、返信用封筒付きの郵便署名はコロナ流行下でも有効な方法だと実感しました。2015年の県漁連との約束を守り、実現可能な廃炉工程、廃炉完了時期と廃炉完了の姿をすべての国民に分かりやすい方法で示して意見を求めることが必要だと思います。4月6日福島民報新聞1面に掲載された【政府「理解なしに処分せず」処理水放出で全漁連と会談 姿勢改めて伝達】は私達の署名行動が大きな力を発揮したものと思います。引き続き皆さんのお力添えをよろしくお願いいたします。

<呼びかけ人報告>◇宮城県漁業協同組合 組合長 寺沢春彦 様

漁業者の生業再生がこれからというタイミングでの海洋放出は復興に水を差す行為です。漁業者をこれ以上苦しめてはいけないと、総会や漁業広報誌とともに署名用紙を配布し署名に取り組んできました。消費者と共に署名に取り組めたことで、皆さまの安心安全への思いを知ることができ、宮城の水産物を手に取ってもらうきっかけにもなったと思います。安心安全な水産物を届けるためこれからも検査体制を強化していきます。



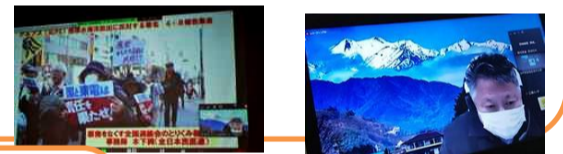
◇いわて生活協同組合 盛岡西コープ 岡部真由美 様

3万筆を目標に取り組んできました。まずは組合員理事が学習会に参加し理解を深め、漫画やメッセージ性の高い署名用紙を使用するなど、「思い」を伝えることを大切にしました。心に訴えることができ、他人事ではなく「わたしたちの問題」として捉えるきっかけになったと思います。



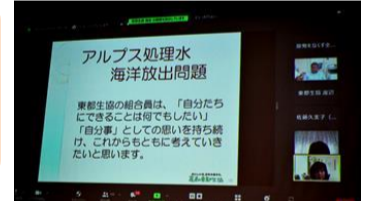
◇原発をなくす全国連絡会 事務局 木下 興 様

2012年に13団体で発足し、現在35団体になりました。福島の真の復興には原発がゼロになることが必要です。福島復興共同センターと一緒に開催したオンライン集会には1,000人を超える参加がありました。頑張っていきたいと思います。



◇東都生活協同組合 組合員常任理事 橋本 好美 様

東都生協の組合員さんは社会問題への意識が高い傾向があります。毎月発行している情報誌で署名を案内し、学習会を開催し多くの組合員にご参加いただきました。10年間3.11を忘れない活動に取り組み、東日本大震災3.11を忘れないチームを立ち上げました。「自分事」としての思いを持ち続け、これからも共に考えていきます。



◇新日本婦人の会宮城県本部 会長 佐々木 ゆきえ 様

「戦争反対」「原発いらない」ずっと言い続けてきました。2011.3.11以降は特に力を入れてきました。県が国民の声を聞かないなら、国に要請していくことが必要だと思います。



新婦人みやぎへようこそ！

◇生業訴訟原告団 事務局次長 服部 崇 様

全国キャラバンのなかで生業とともに処理水について話すことで署名につながりました。農業者がこの11年どれだけの思いでここまで立ち上がってきたのかを考えてもらいたいです。国が風評を作っていると思います。署名はここで終わりではないので、生協と連動して今後も多くの団体に呼びかけていきます。

◇生活協同組合コープおおい 理事長 青木 博範 様

東日本大震災・原発事故以降「負けないで！ふくしま」を掲げ福島に寄り添ってきました。ALPS処理水海洋放出問題オンライン学習会を3回開催し、205名の参加がありました。今後も学習会を開催し、署名活動を継続します。全国のみなさん、総代会で特別決議しませんか。決議しましょう！



◇今後の取り組みについて

宮城県生協連 野崎和夫専務理事より引き続きの取り組みのお願いと学習活動、要請活動の取り組みについて報告がされ、最後にみやぎ生協・コープふくしま 穴戸義広 福島県副本部長より感謝と御礼の閉会あいさつで会を閉じました。



●報告会 見逃し配信の案内 ご希望の皆様に見逃し配信を案内させていただきます。
お問い合わせ・お申込みは、みやぎ生活協同組合 生活文化部くらしの活動推進課
池町江美子 e-mail sn.m11417ei@todock.coop 電話 022-347-3826

<情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
TEL024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop (根本)



<編集後記>erikoのつぶやき

全国からご参加いただき「アルプス処理水海洋放出反対署名」の報告集会を開催することができました。ありがとうございました。各団体の取り組み報告に感銘を受け、改めて感謝の気持ちが沸き上がりました。東日本大震災以降それぞれが向き合ってきた問題や11年間の取り組みを知ることで、おひとりおひとりの並々ならぬ思いを感じる事ができました。皆さまと一緒にまた新たなステージに進んで行ける、そんな報告集会になったと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

